

# 令和 4 年 度

## 小学校教員資格認定試験

### 教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

#### 注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を「令和 4 年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、選択教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で、特に受験番号、選択教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は、全て「解答カード」の選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。  
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 180 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。  
[マーク例]
13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

(よい例) ●

(悪い例) ○ ○ ○ ○

# 目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	9
3. 算 数	17
4. 理 科	23
5. 生 活	29
6. 音 楽	35
7. 図画工作	39
8. 家 庭	47
9. 体 育	53
10. 外国語(英語)	61

# 国 語

問 1 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている「音読、朗読に関する事項」に基づいた指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第1学年では、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する必要があるため、物語のそれぞれの場面で、場面の様子が分かるように言葉に気を付けて明瞭な発音で音読するよう指導した。

イ 第2学年では、文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する必要があるため、物語の場面ごとの間の取り方に注意しながら、まとまりによって抑揚や強弱をつけて音読するよう指導した。

ウ 第4学年では、文章の大体の内容を理解した上で、読み取ったことを聞き手にうまく伝える必要があるため、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意しながら情景が相手に届くように朗読するよう指導した。

エ 第5学年では、文章全体として何が書かれているのかを大づかみに捉えたり、登場人物の行動や気持ちの変化を大筋で捉えたりしながら、抑揚を付けて音読するよう指導した。

問 2 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている「読書に関する指導事項」に基づいた指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年の児童に、幅広く読書に親しむ習慣を付けさせるため、地域の図書館に出かけ、事典や新聞などから必要な情報を得て、分かったことをノートにまとめるよう指導した。

イ 第3学年の児童に、いろいろな本があることを理解させるため、友達が紹介する多様な本を知り、その内容を聞いて次に読みたい本を見つけるよう指導した。

ウ 第4学年の児童に、読書の楽しさや有効性を実感させるため、学級でブックトークをして多様なものの見方や考え方に触れるよう指導した。

エ 第5学年の児童に、日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることを理解させるため、読んだ本の中で見つけた自分を支える言葉や新たに抱いた考えについてまとめるよう指導した。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第2学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「学校の中で、好きな場しよを教えよう」という単元である。2年間生活してきた学校の中で、一番お気に入りの場所を選び、そこを選んだ理由とともに、その場所の魅力が聞き手に伝わるように話す。どんなことを話せばその魅力が伝わるのか、また、みんなに伝わるように話すにはどうすればよいか。話の内容や組立てを考え、話す際の声の大きさや速さに注意しながら伝える活動をした。

- ア 伝えたいことが聞き手にうまく伝わるように、声の大きさや話す速さを考えて工夫しながら話すよう指導した。
- イ 伝えたいことが聞き手にうまく伝わるように、好きな場所の良いところを書き出し、その中から話すことを選んで、話の順序を考えるよう指導した。
- ウ 伝えたいことが聞き手にうまく伝わるように、その場所の写真や動画を編集して資料として見せるなど、自分の考えが伝わる表現を工夫するよう指導した。
- エ 伝えたいことが聞き手にうまく伝わるように、今までの学校生活を思い浮かべてノートに書き出し、一番伝えたい場所はどこなのかを絞っていくよう指導した。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)に示されている指導事項に基づいた第4学年の学習活動である。この学習活動で指導する内容として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「お礼の気持ちを伝えよう」という単元である。地域学習でお世話になった公民館の皆さんに、日頃の感謝と、地域学習で地域のお祭りの歴史や地域の皆さんの活動を学習させてもらったことへのお礼の気持ちを伝える手紙を書く。

- ア 相手や目的を意識した表現で書くことが大事なので、書き表し方が適切なものとなっているかを推敲<sup>こう</sup>する指導を行う。
- イ 敬体と常体とを意識的に使い分けることが大事なので、書いた手紙を互いに読み合い、文末表現を確かめる指導を行う。
- ウ 丁寧な言葉を使って書くことが大事なので、書き出しの挨拶には「拝啓」と書くなど、書き方の決まりを守って改まった気持ちで書く指導を行う。
- エ お礼の気持ちが伝わる手紙を書くことが大事なので、相手がしてくれたことやそのときに感じたことなどをノートに書き出した上で、手紙の基本的な形式を押さえて書く指導を行う。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)のイ及びエでは、次のように示されている。これらの内容をねらいとした具体的な指導として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。

エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

ア 文学的な文章を読む際、登場人物の行動の背景にある気持ちを、行動や会話、地の文などの複数の叙述を基に捉えさせる指導をした。

イ 文学的な文章を読む際、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けながら、具体的に想像して内容をつかませる指導をした。

ウ 文学的な文章を読む際、内容を読み取り、それらを基に考えたことや具体的に想像したことなどを文章にまとめて発表させ、友達の見方によさに気付かせる指導をした。

エ 文学的な文章を読む際、場面の様子を描いた挿絵なども手掛かりにしながら、誰が、どうして、どうなったかなどを繰り返し把握して、物語全体の内容を理解させる指導をした。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

思考は、けつきよくのところ最後は「閃き」(飛躍)に行き着く。そのために、グループで自由にアイデアを出し合う、いわゆるブレイン・ストーミングなどを行ったりもする。そしてブレイン・ストーミングなどでは、論理的に一貫した発言をすることよりも、可能なかぎり自由に発想していくことの方が有効なものとなる。思考の本質はむしろ飛躍と自由であり、そしてそれは論理の役目ではない。

A  
論理は、むしろ閃きを得たあとに必要となる。閃きによって得た結論を、誰にでも納得できるように、そしてもはや閃きを必要としないような、できるかぎり飛躍のない形で、再構成しなければならぬ。なぜそのような結論に到達したのか。それをまだその結論に到達していない人に向かって説明しなければならぬのである。

B  
ここで重要なのは、あなたがその結論に到達した実際の筋道ではない。実際の思考の筋道は、すでに述べたように、最終的な閃きに至った<sup>B</sup>紆<sup>B</sup>曲折のある道だろう。苦労話をするというのでもないかぎり、それをそのままアピールしても意味はない。どういふ前提から、どういう理由で、どのような結論が導けるのか。そしてそれ以外の結論はどうして導けそうにないのか。そうしたことを、論理的に再構成して説明するのである。

(野矢茂樹 『新版 論理トレーニング』より引用し一部改変)

上の文章中の傍線部A「論理は、むしろ閃きを得たあとに必要となる」とあるが、そのように言えるのはなぜか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 思考と論理は同時に行われることはなく常に思考の後に論理があるから
- イ 閃いた考えが正しいことを根拠をもって組み立てるのが論理であるから
- ウ 最終的な結論に達したその筋道を順序よく説明するのが論理であるから
- エ 優れた仮説が必要となる思考に飛躍と自由を与えるのが論理であるから

問 7 問 6 の文章中の傍線部B「紆<sup>B</sup>曲折」とあるが、「<sup>B</sup>」に入る漢字と同じ漢字を用いた熟語を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア すばらしいコンサートを聴き、その<sup>B</sup>韻にひたる。
- イ 空一面を黒い雲が覆い、何か不吉な<sup>B</sup>感がする。
- ウ 1年で20日間の有給休暇が<sup>B</sup>付<sup>B</sup>されている。
- エ 将来の生活のためにある程度の<sup>B</sup>金をしている。



問 8 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

此木戸や錠のさゝれて冬の月 其角  
『猿みの』撰の時、此句を書きおくり、  
下を冬の月・霜の月、置き煩ひ待るよ  
し、きこゆ。然るに、初めは文字つま  
りて、柴戸と読めたり。先師曰く、  
「角が、冬・霜に煩ふべき句にもあら  
ず」とて、冬の月と入集せり。其後、  
大津より先師の文に、「柴戸にあら  
ず、此木戸也。かゝる秀逸は一句も大  
切なれば、たとへ出版に及ぶとも、い  
そぎ改むべし」と也。

(日本古典文学大系 連歌論集  
俳論集『去来抄』)

上の文章の内容を端的に説明したものとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 先師は其角の句を冬の句としたが、後に秋の句として入れるべきであると考えを改めた。
- イ 先師は其角の句を最初読み間違っって評価しなかったが、後に間違いに気づき訂正を命じた。
- ウ 其角は最後の表現を冬か霜かで迷ったが、先師は初句を柴の戸ではなく此の木戸にすべきだと伝えた。
- エ 其角が大津にいる先師にこの句を書き送ったのに対し、先師は初句の表現がいかに大切であるかを教えた。

問 9 問 8 の文章中の傍線部「先師」とは、松尾芭蕉のことである。松尾芭蕉が『奥の細道』でつくった次の句を、『奥の細道』の行程順に並べるとどのような順序になるか。最も適切なものを下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 象潟や雨に西施がねぶの花
- ② 行春や鳥啼き魚の目は泪
- ③ 閑かさや岩にしみ入る蟬の声
- ④ 五月雨の降りのこしてや光堂

(日本古典文学全集『松尾芭蕉集』より引用し一部改変)

- ア ④ → ③ → ① → ②
- イ ④ → ① → ③ → ②
- ウ ② → ④ → ③ → ①
- エ ② → ③ → ④ → ①

問10 次の詩は、問 8 の文章中にある「先師」(松尾芭蕉)が影響を受けた中国の詩人李白のものである。この詩の説明として当てはまらないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

低	拳	疑	牀	静
頭	頭	是	前	夜
思	望	地	看	思
故	山	上	月	李
郷	月	霜	光	白

- ア 寝床に差し込む月の光は地上に降りた霜のようだと言っている。
- イ 「低頭思故郷」とは、眼下に広がる故郷を見ているさまである。
- ウ 転句と結句は対句となっており、この詩の主題がここに込められている。
- エ この詩は五言絶句であり、起句と承句、さらには結句末で韻を踏んでいる。

# 社 会

問 1 次の文は『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 社会科の目標及び内容 第 1 節 社会科の目標 1 教科の目標」に関する記述である。「思考力，判断力，表現力等」に関する目標についての説明として適切でないものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

ア 「社会的事象の特色」とは，他の事象等と比較・分類したり総合したりすることで捉えることのできる社会的事象の特徴や傾向，そこから見いだすことのできるよさなどである。例えば，仕事や活動の特色，生産の特色，地理的環境の特色などに表される。

イ 「社会的事象の相互の関連」とは，社会的事象の仕組みや働きなどを地域の人々や国民の生活と関連付けることで捉えることができる社会的事象の社会における働き，国民にとっての役割などである。例えば，産業が国民生活に果たす役割，情報化が国民生活に及ぼす影響，国民生活の安定と向上を図る政治の働きなどに表される。

ウ 「社会への関わり方を選択・判断する」とは，例えば，森林資源を守る取組は，林業従事者，行政，NPO 法人など様々な立場から行われている事実を学んだ上で，私たちはどうすればよいか，これからは何が大切か，今は何を優先すべきかなどの問いを設け，取組の意味を深く理解したり，自分たちの立場を踏まえて現実的な協力や，もつべき関心の対象を選択・判断したりすることなどである。

エ 「表現力」とは，考えたことや選択・判断したことを説明する力や，考えたことや選択・判断したことを基に議論する力などであり，資料等を用いて作品などにまとめたり図表などに表したりする表現力や，調べたことや理解したことの言語による表現力を育成することも併せて考えることが大切である。

問 2 第3学年における「市の様子の移り変わり」の単元で、市の様子が移り変わってきたことを学習するために、博物館や資料館などの関係者や地域の人々などへ聞き取り調査をすることにした。「小学校学習指導要領」の内容を踏まえて、聞き取り調査をする際に取り上げるものとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 交通網
- イ 公共施設
- ウ 土地利用
- エ 文化財

問 3 第4学年における「自然災害から人々を守る活動」の単元の学習で、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動などを中心に調べることにした。「小学校学習指導要領」の内容を踏まえて、地震災害について学習する場合に取り上げる地域の関係機関や人々の協力活動の内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 津波や土砂崩れなどへの対策
- イ 地下街等への浸水防止や砂防ダムの建設
- ウ 地域住民や登山者に向けた火山災害に関するパンフレット作成
- エ 河川の改修

問 4 第4学年における「県内の伝統や文化」の単元で、日本の伝統工芸品を調べる学習を行った。国が指定する伝統的工芸品とその指定先の府県の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 熊野筆 —— 広島県
- イ 有田焼 —— 長崎県
- ウ 南部鉄器 —— 岩手県
- エ 西陣織 —— 京都府

問 5 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年〕2 内容」に関する記述である。文中の ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・我が国の食料生産は、① を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。
- ・貿易や② は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。
- ・放送、③ などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。
- ・森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により④ の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

	①	②	③	④
ア	気候や地形	運輸	新聞	環境
イ	気候や地形	運搬	インターネット	国土
ウ	自然条件	運輸	新聞	国土
エ	自然条件	運搬	インターネット	環境

問 6 第 5 学年における「我が国の農業や水産業における食料生産」の単元で、日本の漁業種類別の生産量について調べる学習を行った。次の表は、日本の漁業種類別の生産量の推移と割合(2020年)を示したものであり、表中のア～エは、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業、養殖業のいずれかである。養殖業に当てはまるものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

		生産量(万 t)						
		1970 年	1980 年	1990 年	2000 年	2010 年	2020 年	2020 年 (%)
海面	ア	328	570	608	259	236	204	48.3
	イ	55	99	127	123	111	97	22.9
	ウ	189	204	199	158	129	87	20.6
	エ	343	217	150	85	48	30	7.0
内水面	漁業・養殖業	17	22	21	13	8	5	1.2

農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より作成

問 7 第 6 学年における「我が国の歴史上の主な事象」の単元で、京都に都が置かれた頃の学習において、貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解する学習を行った。この頃につくられた文学作品として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 源氏物語
- イ 万葉集
- ウ 枕草子
- エ 古今和歌集

問 8 第 6 学年における「我が国の歴史上の主な事象」の単元で、江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解する学習を行った。この時代の人物とその人物が担った町人の文化の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 菱川師宣 — 浮世絵
- イ 葛飾北斎 — 川柳
- ウ 小林一茶 — 狂歌
- エ 井原西鶴 — 人形浄瑠璃



問 9 次の表は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 社会』（令和2年3月国立教育政策研究所）で示されている第6学年の「我が国の政治の働き」に関する評価規準(例)である。表中の ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や ① の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解しているとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。</li> <li>・国や ② の政治は、国民主権の考え方の下、① の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。</li> <li>・見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が ① に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現している。</li> <li>・政策の内容や計画から実施までの過程、③ との関わりなどに着目して、国や ② の政治の取組を捉え、① における政治の働きを考え、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の政治の働きについて、主体的に ④ しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</li> </ul>

①	②	③	④
ア 国際平和	地方公共団体	地域の課題	情報を収集
イ 国民生活	省庁	法令や予算	情報を収集
ウ 国際平和	省庁	地域の課題	問題解決
エ 国民生活	地方公共団体	法令や予算	問題解決

問10 私たちの消費生活に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア インターネットで購入した衣類について、イメージしていたものと違うものであった場合、クーリング・オフをすることができる。
- イ ある店舗で購入した商品について、使用する前に不要となった場合、商品を開封していなくても解約することはできない。
- ウ 消費者と事業者とが、お互いに契約内容(商品の内容・価格・引渡し時期等)について合意すれば、口頭であっても契約は成立する。
- エ 令和4年4月1日から、民法改正による成年年齢の引下げによって、18歳になれば、親の同意がなくても、携帯電話を購入することができる。

# 算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』における「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 1 節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の⑤の「日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力」についての記述の一部である。空欄 ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「見通しをもつ」と示しているのは、物事について判断したり、推論したりする場合に、見通しをもち筋道を立てて考えることの重要性を述べたものである。問題に直面した際、事象を既習事項を基にしながら観察したり試行錯誤したりしながら結果や方法の見通しをもつことになる。その際、幾つかの事例から一般的な法則を ① したり、既知の似た事柄から新しいことを ② したりする。また、ある程度見通しが立つと、そのことが正しいかどうかの判断が必要となり、このときは既知の事柄から ③ 的に考えたりする。

- ア ① 類推      ② 演繹      ③ 帰納  
 イ ① 帰納      ② 類推      ③ 演繹  
 ウ ① 演繹      ② 帰納      ③ 類推  
 エ ① 類推      ② 帰納      ③ 演繹

問 2 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(2)」の記述である。空欄 ① ~ ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用すること。また、第 1 章 総則の第 3 の 1 の(3)のイに掲げるプログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う場合には、児童の負担に配慮しつつ、例えば第 2 の各学年の内容の〔 ① 〕の「B 図形」の(1)における ② の作図を行う学習に関連して、正確な繰り返し作業を行う必要があり、更に一部を変えることでいろいろな ② を同様に考えることができる場面などで取り扱うこと。

- ア ① 第 5 学年      ② 正多角形  
 イ ① 第 5 学年      ② 対称な図形  
 ウ ① 第 6 学年      ② 正多角形  
 エ ① 第 6 学年      ② 対称な図形

問 3 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 2

各領域の内容の概観 A 数と計算 (3)「A数と計算」の領域で育成を目指す資質・能力」において説明されている「式の働き」として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 事柄や関係を簡潔、明瞭、的確に、また、一般的に表すことができる。
- イ 具体的な意味を離れて、形式的に処理することができる。
- ウ 具体的な事柄や関係を読み取ったり、より正確に考察したりすることができる。
- エ ある事柄に関する数量を観点を定めて整理することで特徴を把握することができる。

問 4 「小学校学習指導要領」の「B 図形」領域では、平面図形の計量の仕方について、三角形、四角形(正方形、長方形、平行四辺形、ひし形、台形)、円の面積公式が指導される。それぞれの面積公式が指導される学年の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 第 3 学年：正方形、長方形  
第 4 学年：三角形、平行四辺形、ひし形、台形  
第 5 学年：円
- イ 第 4 学年：正方形、長方形  
第 5 学年：三角形、平行四辺形、ひし形、台形  
第 6 学年：円
- ウ 第 3 学年：正方形、長方形  
第 4 学年：三角形、平行四辺形  
第 5 学年：ひし形、台形、円
- エ 第 4 学年：三角形  
第 5 学年：正方形、長方形、平行四辺形、ひし形、台形  
第 6 学年：円

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 5 節 第 5 学年の目標及び内容 2 第 5 学年の内容 C 変化と関係 C(2)」において説明されている「異種の二つの量の割合」の文章題として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 面積  $10a$  (アール) の田 A では  $560\text{ kg}$  の米を収穫でき、面積  $13a$  (アール) の田 B では  $670\text{ kg}$  の米が収穫できました。どちらの田でよく米がとれたでしょうか。

イ 10 回シュートしたうち 8 回入った A さんと、12 回シュートしたうち 9 回入った B さんとは、どちらがよく成功したといえますか。

ウ 新幹線のはやぶさ号は 2 時間で  $440\text{ km}$  進み、かがやき号は 3 時間で  $630\text{ km}$  進みます。どちらが速いですか。

エ 面積  $6\text{ m}^2$  に 9 匹のうさぎがいる小屋 A と、面積  $5\text{ m}^2$  に 8 匹のうさぎがいる小屋 B とでは、どちらが混んでいるでしょうか。

問 6 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 3 学年〕 2 内容 D データの活用」に示されている、身に付ける知識及び技能として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすること。

イ 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすること。

ウ ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすること。

エ データを二つの観点から分類整理する方法を知ること。

問 7 次の文の空欄  ～  に当てはまる数値の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

十進位取り記数法で表された  $23$  を、二進数で表すと , 五進数で表すと , となる。

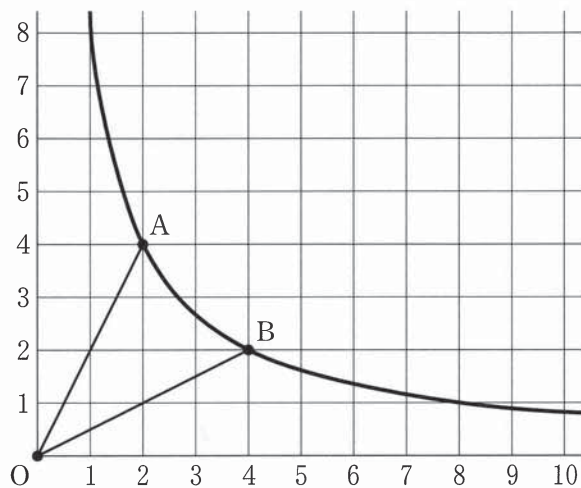
ア ①  $11011$       ②  $34$

イ ①  $10111$       ②  $43$

ウ ①  $11011$       ②  $43$

エ ①  $10111$       ②  $34$

問 8 次の図のように、 $y = \frac{8}{x}$  ( $x > 0$ ) のグラフ上に点 A(2, 4) と点 B(4, 2) をとる。この座標平面上に点 C をとるとき、 $\triangle AOB$  の面積と  $\triangle ABC$  の面積が等しくなるような点 C の座標として、正しくないものを下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

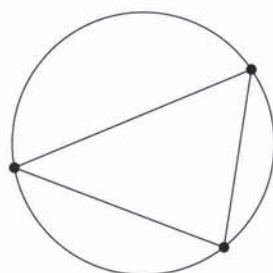


- ア (6, 6)      イ (12, 0)      ウ (7, 3)      エ (2, -2)

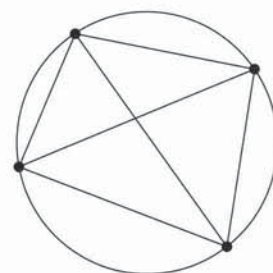
問 9 円周上に幾つかの点を取り、次の図のように全ての点を線分で結ぶとする。点の数が 100 個の場合、何本の線分を引くことができるか、正しいものを下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



点が 2 個の場合



点が 3 個の場合



点が 4 個の場合

- ア 2,475 本      イ 4,950 本      ウ 7,425 本      エ 9,900 本

問10 正六面体のサイコロと正十二面体のサイコロを同時に投げるときに起こりうる全ての場合の数について、正しいものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 12      イ 18      ウ 36      エ 72

# 理科



問 1 検流計や電流計の使い方として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 直流用の電流計は、回路の中に直列につないで使用する。そのときには、電流計のプラス極と電池や電源装置のプラス極をつなぎ、電流計のマイナス極と電池や電源装置のマイナス極をつなぐ。

イ マイナス極の端子を切り替えて使う電流計では、数値の大きい端子からつなぐ。

ウ 検流計を用いて乾電池がどれだけの電流を流すことができるかを調べるときには、乾電池のみを回路に直列につないで測定する。

エ 検流計を用いると、電流の大きさだけでなく、電流の流れる向きも知ることができる。

問 2 第3学年で「磁石の性質」を学習する。通常の磁石に引き付けられない物を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 鉄

イ コバルト

ウ ニッケル

エ 銀

問 3 第5学年で「振り子の運動」を学習する。『小学校学習指導要領解説』の「第3章 各学年の目標及び内容 第3節 第5学年の目標及び内容 2 第5学年の内容 A 物質・エネルギー (2) 振り子の運動」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 振れ幅が極端に大きくなるように適切な振れ幅で実験を行うようにする。

イ 振り子の長さは糸などをつるした位置から糸とおもりの接点までである。

ウ 伸びの少ない糸などを用いる。

エ 測定中の振れ幅の減少ができるだけ小さい振り子を使用する。

問 4 第 6 学年「水溶液の性質」の学習において、3 枚の金属板 A, B, C のそれぞれを、別々に塩酸及び水酸化ナトリウムの水溶液に入れ、溶け方の違いを比較する実験を行って、次の結果を得た。実験結果から金属板 A, B, C の組合せとして適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

実験結果

水溶液 \ 金属板	A	B	C
塩酸	溶けた	溶けた	溶けなかった
水酸化ナトリウム水溶液	溶けた	溶けなかった	溶けなかった

- ア A : アルミニウム      B : マグネシウム      C : 銅  
 イ A : 鉄      B : 銅      C : マグネシウム  
 ウ A : 銅      B : アルミニウム      C : 鉄  
 エ A : マグネシウム      B : 鉄      C : アルミニウム

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 4 学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (1) 空気と水の性質」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 閉じ込めた空気を<sup>お</sup>圧すと、体積は小さくなる。  
 イ 閉じ込めた空気を<sup>お</sup>圧すと、<sup>お</sup>押し返す力は大きくなる。  
 ウ 閉じ込めた空気は<sup>お</sup>押し縮められる。  
 エ 閉じ込めた水は<sup>お</sup>押し縮められる。

問 6 第 6 学年「人の体のつくりと働き」では、血液について学習する。人の血液に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 動脈血は酸素を多く取り込んでおり、静脈血は二酸化炭素を多く取り込んでいる。  
 イ 人の心臓は、二つの部屋に分かれている。  
 ウ 人の血液が赤く見えるのは、赤血球に含まれるヘモグロビンによる。  
 エ 血液は酸素や二酸化炭素のほか、糖などの養分も運搬している。

問 7 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年〕 2 内容 B 生命・地球 (1) 身の回りの生物」に示された、指導すべき内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。また、周辺環境と関わって生きていること。
- イ 昆虫の育ち方には一定の順序があること。また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。
- ウ 植物の育ち方には一定の順序があること。また、その体は根、茎及び葉からできていること。
- エ 植物の育ち方は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

問 8 第4学年「月と星」の学習では、空には、明るさや色の違う星があることを学ぶ。星の明るさと色の違いに関する記述として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 星の色とその星の温度には深いつながりがあり、赤い星の温度の方が、青や白っぽい星の温度よりも高い。
- イ 明るさが変わる恒星は変光星と呼ばれるが、見かけの明るさが変わるだけであって、実際の明るさが変わるわけではない。
- ウ 星の明るさは、その星までの距離と比例しており、明るい星は暗い星よりも近くにある。
- エ 星の明るさは、「等級」や「等星」で表されるが、その定義は異なる。

問 9 第5学年「天気の変化」の学習では、台風の進路による天気の変化や台風と降雨との関係について学ぶ。台風に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 台風は、太平洋高気圧の縁に沿うように北上する傾向がある。
- イ 台風は、地球の自転の影響により、北～北西へ向かう性質を持っている。
- ウ 台風は、日本付近では、上空の偏西風の影響を受けて速い速度で北東へ進む傾向がある。
- エ 台風とは、熱帯の海上に発生する低気圧のうち、赤道より北の東経 180 度より西の北西太平洋又は南シナ海に存在し、中心気圧が 980 hPa 以下のものをさす。

問10 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕 2 内容 B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化」に示された、指導すべき内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 土地は、礫<sup>れき</sup>、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。

イ 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。

ウ 地層には、断層<sup>しゅう</sup>、褶曲している場合があり、それらは地震に伴う土地の変化であること。

エ 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。

# 生 活

問 1 1年生の生活科において「なつをみつけた」という単元の授業をすることになった。事前の準備をする際の配慮として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 本単元の授業では、事前に活動場所の下見を行い、危険な場所や動植物の有無などを確認しておく。
- イ 日常会話や朝の会、帰りの会などで最近見られる草花や樹木、虫について話題にし、夏の動植物への関心をもてるようにしておく。
- ウ 手洗い・うがいなどの衛生面の指導や、着帽や水分補給など熱中症予防の指導を徹底する。
- エ 家庭と連携し、保護者には活動内容を伝え、どの授業でも必ず保護者が同行し、安全面を考慮してもらうように依頼する。

問 2 1年生の生活科において「あきとあそぼう」という単元の授業をすることになった。授業を展開する際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 身近な自然、季節や地域の行事に興味・関心をもち、自然と直接触れ合い注意を向けたり、行事の中で実際に地域の人と関わったりする。
- イ 身近な自然を観察したり、行事に関わったりすることを通して、そこで体験できる環境を十分に味わい、ゆっくりとした時間を過ごすとともに他者との関わりを楽しむ。
- ウ 身近な自然の共通点や相違点、季節の移り変わりに気付いたり、季節の変化と自分たちの生活との関わりに気付いたりする。
- エ 自然との触れ合いや行事との関わりの中で、気付いたことを毎日の生活の中で生かし、自分自身の暮らしを楽しく充実したものにする。

問 3 1年生の生活科において「おおきくなったじぶん」という単元の授業をすることになった。授業を展開する際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 過去を振り返ることではなく、未来へと思いを馳<sup>は</sup>せることで、自分の成長をできる限り頭の中で想像し、成長していく自分を実感させる。

イ これまでの生活や出来事を思い浮かべ、過去の自分と現在の自分を比較することで、自分自身の生活や成長を見つめ直すことが大切である。

ウ 自分自身を振り返ることは、自分の成長や変容について考え、自分のイメージを深め、自分のよさや可能性について気付くことにつながる。

エ 自分の成長を具体的に実感し、その喜びを感じ、感謝の気持ちをもつことは、夢や希望をもって、前向きに生活していくために大切なことである。

問 4 2年生の生活科において「おもちゃであそぼう」という単元の授業をすることになった。授業を展開する際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 授業で動くおもちゃを取り扱う際、集まったおもちゃの材料はあらかじめ点検し、破損して<sup>いて</sup>児童がけがをしそうな物が混じっていないかチェックするようにする。

イ みんなと楽しみながら遊びを創り出すときには、児童の自由な発想を大切にするために、あまりルールで縛らず思いどおりに遊ばせるようにする。

ウ 遊びや遊びに使う物をつくる際には、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」ことを大切にして、試行錯誤しながら遊ぶようにする。

エ 競い合ったり力を合わせたりすることなど、友達との関わり合いを通して、友達のよさや自分との違いを考えるようにする。

問 5 2年生の生活科において「町のすてきをつたえよう」という単元の授業をすることになった。授業を展開する際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 本単元の授業では、表情やしぐさ、態度による活動よりも、相手に直接話しかけることなど、言葉を中心に伝え合う活動を活発に行うことが大切である。

イ これまでの町探検などで地域と関わった際の記録カードや写真、町の絵地図などをきちんと残しておき、振り返るための手掛かりとする。

ウ 手紙や電話、ファックスなどの多様な手段を活用できるように心掛ける。

エ 伝え合う活動では、互いのことを理解しようとしたり、進んで触れ合い交流しようとしたりする授業展開に心掛ける。

問 6 2年生の生活科において「みんな生きている」という単元の授業をすることになった。生き物を飼う授業を展開する際に留意することとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア デジタルカメラやタブレット端末などの情報機器を活用し、児童が生き物の変化や成長の様子に気付くようにする。

イ 飼育の過程において、児童の「もっと元気に育ててほしい」という願いを実現するために、動物本来の生育環境にも目を向けるようにする。

ウ 活動の前後には、必ず手洗いをする習慣を付け、感染症などの病気の予防に努める。児童のアレルギーなどについても、事前に保護者に尋ねるなどして十分な対応を考えておくことが大切である。

エ 動物を飼ったり植物を育てたりする活動は、学校の置かれている環境によって実施しにくいときには2学年間の見通しをもってどちらか一方を実施するだけでよい。



問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標 第 1 節 教科目標 3 資質・能力の三つの柱としての目標の趣旨 (1) 「知識及び技能の基礎」に関する目標」において示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生活科でいう気付きとは、対象に対する一人一人の認識であり、児童の主体的な活動によって生まれるものである。
- イ 集団生活になじみ、集団における様々な活動を通して、自分の存在に気付くことが大切である。
- ウ 自分のよさや得意としていること、また、興味・関心をもっていることなどに気付くことが大切である。
- エ 他者との関係や周囲からの評価に十分留意することを重視し、それによって自分の心身の成長に気付くことが大切である。

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」において示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児童が地域の人々、社会及び自然と直接関わるものが少なくなってきたので、児童がそれらと直接関わる学習活動を今まで以上に重視する。
- イ 児童が直接関わる対象や場は、人、社会、自然が一体となって存在しているので、地域の人々、社会及び自然を一体的に扱う学習活動を工夫することが大切である。
- ウ 低学年の児童は、人、社会、自然を区別しながら認識する傾向が強いので、そうした児童の発達の特徴を考慮した学習活動を行う。
- エ 児童は、関心をもったことについて、直接働きかけながら、それらと自分との関わりを深め、知的好奇心や探究心などを育むので、児童の側に立ち、児童の思いや願いに沿った必然性のある学習活動を展開することが大切である。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」において、障害のある児童など一人一人の児童の状況等に応じた十分な学びを確保するための配慮について示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 言葉での説明や指示だけでは、安全に気を付けることが難しい児童の場合には、その説明や指示の意味を理解し、なぜ危険なのかをイメージできるように、体験的な事前学習を行うなどの配慮をする。
- イ 自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難な場合は、児童がどのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいようにする。
- ウ 学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい場合は、学習経過を思い出しやすいように、学習経過などの分かる文章や写真、イラスト等を活用する。
- エ 配慮を行うに当たっては、得意なことを生かす視点ではなく、困難さを補うという視点を重視する。

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第2節 学年の目標 2 学年の目標の趣旨」において示された、「集団や社会の一員として安全で適切な行動」として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分の思いや願いをもって接したり、人や場所、ものなどに親しみ、大切にしたりすることができる。
- イ 相手や場所の様子や状況を考えて、接したり扱ったりすることができる。
- ウ 健康や安全に気を付けたり、きまりなど日常生活に必要なことを大切にしたりして行動することができる。
- エ 自分のよさよりも友達のよさを認め、協力して行動することができる。

# 音 樂

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」に挙げられている，指導計画の作成に当たって配慮すべき事項として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 障害のある児童などについては，学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的，組織的に行う。
- イ 低学年においては，他教科等との関連を積極的に図り，指導の効果を高めるようにする。
- ウ 高学年から，国歌「君が代」を歌えるよう指導する。
- エ 道徳科などとの関連を考慮しながら，音楽科の特質に応じて適切な指導をする。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 3 内容の取扱い」において，第 1 学年及び第 2 学年で取り扱う鑑賞教材として示されていないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 体を動かすことの快さを感じ取りやすい音楽や劇の音楽
- イ 我が国及び諸外国のわらべうたや遊びうた
- ウ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく，親しみやすい曲
- エ 楽器の音色や人の声の特徴を捉えやすく親しみやすい，いろいろな演奏形態による曲

問 3 次の楽譜は，ある歌唱教材曲の一部である。※の部分のコードネームを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

初等科音楽教育研究会編  
『改訂版 最新 初等科音楽教育法  
2017年告示「小学校学習指導要領」準拠』

許諾を得ておらず不掲載

ア  $G_{sus4}$

イ  $B_7^b$

ウ  $C_7$

エ  $Em$

問 4 問 3 の曲と同じ拍子の楽曲を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア シューベルト作曲 《野ばら》
- イ 團伊玖磨作曲 《花の街》
- ウ 中田章作曲 《早春賦》
- エ 山田耕筰作曲 《赤とんぼ》

問 5 問 3 の曲の調の下属調を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア イ短調
- イ 変ロ長調
- ウ ト短調
- エ 変ホ長調

問 6 問 3 の曲名を，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 春の小川
- イ こいのぼり
- ウ もみじ
- エ 冬げしき

問 7 楽器の発音構造(音の鳴る仕組み)が同じ組合せを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 尺八 —— クラリネット
- イ 三味線 —— ギター
- ウ ホルン —— サクソフォン
- エ シンバル —— 大太鼓

問 8 楽語とその意味の組合せとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア cantabile —— 歌うように
- イ grazioso —— 壮大に
- ウ poco a poco —— 少しずつ
- エ vivace —— 活発に速く

問 9 次の教材曲のうち短調ではないものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ショパン作曲 《別れの曲》
- イ ベートーヴェン作曲 《交響曲 第 5 番 運命》
- ウ ブラームス作曲 《ハンガリー舞曲 第 5 番》
- エ モーツァルト作曲 《交響曲 第 40 番 K. 550》

問10 世界の様々な音楽文化とその音楽文化が普及している国の組合せとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ジャズ —— アメリカ
- イ タンゴ —— アルゼンチン
- ウ ヨーデル —— スイス
- エ ガムラン —— インド

## 图画工作

問 1 次の文章は「小学校学習指導要領」の「第1 目標」についての記述である。空欄 ① ~ ⑤ に入る適切な語を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の ① を通して理解するとともに、② を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的な ③ , 表したいこと、表し方などについて考え、創造的に ④ をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、⑤ 生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

- [語群] A よさや美しさ      B 発想や構想      C 材料や用具  
 D 素材や道具      E 感覚や行為      F よさや面白さ  
 G 着想や計画      H 主体的で楽しい      I 楽しく豊かな

	①	②	③	④	⑤
ア	B	D	A	G	I
イ	E	D	F	B	H
ウ	B	C	F	G	H
エ	E	C	A	B	I



問 2 次の各文は「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」における第1～6学年の「2 内容 A 表現」の(1)アに関する事項についての記述である。空欄 ① ～ ⑤ に入る適切な語を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第1学年 及び 第2学年	造形遊びをする活動を通して、身近な ① や ② の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。
第3学年 及び 第4学年	造形遊びをする活動を通して、身近な材料や ③ などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。
第5学年 及び 第6学年	造形遊びをする活動を通して、材料や ③ , ④ などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり ⑤ を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

[語群] A 場所                      B 周囲の環境                      C 自然物  
           D 用具                        E もの                              F 自然  
           G 周囲の様子                H 人工                              I 空間

	①	②	③	④	⑤
ア	E	H	D	I	G
イ	C	F	D	A	B
ウ	I	F	A	D	B
エ	C	H	A	I	G

問 3 『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 安全指導」に記載された内容の趣旨として、次の①～④の中に適切でないものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 材料や用具については、実際に使う際の使い方だけでなく、片付け方や管理方法を含めた安全な扱い方について指導することが重要である。
- ② 安全指導は、児童に材料や用具を取り扱わせながら行うのではなく、教師からの示範や図を使った説明を徹底して行うことが大切である。
- ③ 材料や用具については学習指導要領に示された学年後でも繰り返し取り上げ、安全な扱い方について理解しているため、すでに経験したのものへの説明や確認は不必要であり、自由に扱わせた方がよい。
- ④ 活動場所については、事前の点検が必要であり、ロッカーや棚などは児童がぶつかったり、地震が起きたりしても安易に倒れない措置を講じておく必要がある。

ア 三つ      イ 二つ      ウ 一つ      エ なし

問 4 低学年の図画工作科において「造形遊び」の活動で「はこをいっぱいつかって なにしよう」という授業を行う。その際に配慮する事項として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア たくさんの箱を触ったあと、「気になる形はあったかな」「たくさんあるからどんなことができそうかな」といった活動への期待や発想を膨らませるような声掛けをする。
- イ 横方向に並べるだけでなく、縦方向にも活動の範囲が広がるような材料を準備しておく。
- ウ 床の上での活動が好ましいため、机や椅子を片付けて、広い活動場所を準備しておく。
- エ 箱を児童の家庭に準備してもらうのは困難なため、学校や教員で集めることが大切である。

問 5 中学年の図画工作科において「絵に表す」の活動で木版画の授業を行う。その際に配慮する事項として、次の①～④の中に誤っているものが幾つあるかを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 教室の工夫として、友達の仕事をお互いに見ることができるように、席を班の形にするとよい。
- ② 彫刻刀との初めての出会いになる場合が多いので、刀の形状ごとの彫り跡の特徴や感じの違いを児童自身が感じられるように安全指導を徹底する。
- ③ 版木は彫り跡が分かりやすいように、事前に板の表面を軽く紙やすりで擦り、平らにしておくとうい。
- ④ 彫ったり刷ったりが同じ時間にできるように、動線を意識しながら場や道具の配置を工夫し、人数が多い場合は刷りのコーナーをつくと活動しやすい。

ア 三つ      イ 二つ      ウ 一つ      エ なし

問 6 モダンテクニックと呼ばれる次の①～④の技法について、適切な名称を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 絵の具の“したたり”や“しずく”が生む偶然の痕跡をいかした、面白い形やイメージの発見が見込める技法であり、「吹き絵」や「流し絵」等の種類がある。
- ② 紙などの支持面を、身近にある小物や切り抜いた型紙、蠟ろう等で覆う。上から描画した後、覆っていた面を取り払うことによって生じる効果を活かした技法である。
- ③ ガラス面や紙面の上に絵の具を厚くのせ、別の紙を圧着させて偶然の形や混色を生み出す技法である。
- ④ 「こする」、[摩擦する]という意味の言葉が由来である。表面に凹凸のある物の上に紙をあて、鉛筆等でこすり取ることによって素材の模様や形を写し取る技法である。

[語群] A コラージュ      B デカルコマニー      C ウォッシング  
 D スクラッチ      E スタンピング      F マープリング  
 G マスキング      H ドリッピング      I フロッタージュ

	①	②	③	④
ア	I	A	C	D
イ	F	E	A	I
ウ	C	A	F	E
エ	H	G	B	I

問 7 「絵に表す」の活動で使用する水彩絵の具やその技法に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア グラデーションは「階調」とも言い、色彩や明暗を段階的に変化させていくことをいう。
- イ 不透明水彩絵の具は下の色を覆い隠す性質があるため、重色を行うことができない。
- ウ 不透明水彩絵の具による描写は、明るい色から暗い色へ向かって描写していくのが基本である。
- エ 画面奥に向かって薄め、ぼかすことによって生じる遠近感の描写を空気遠近法と呼ぶ。

問 8 次の文章は様々な材料を使った「立体に表す」学習のポイントについて述べたものである。空欄  
 ① ~ ③ に入る適切な語を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

様々な身近材料を用いて「立体に表す」活動は、子供たちに期待する発想の在り方において「①に表す」活動と大きく違う。「①に表す」では機能や機構といった目的や構造を生かすことに発想の主眼が置かれるのに対して、「立体に表す」では、材料の形や色及び②の特徴を生かす発想の面白さに主眼を置く。それには「③」の視点が重要である。材料を手にして、「これは〇〇みたい」、「この部分が□□みたい」などと発想し製作に生かしていく。

- [語群] A 絵            B 工作            C 子供  
           D 材質            E 見立て        F 見通し

	①	②	③
ア	A	D	F
イ	B	C	F
ウ	A	C	E
エ	B	D	E

問 9 次の文章は粘土の学習のポイントについて述べたものである。空欄 ① ~ ③ に入る適切な語を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

子供たちは粘土を使用した造形活動が好きだが、指先だけでつくったりピンポン球程度の量を扱う活動にとどまったりする子も多い。粘土の ① を生かし、指先だけでなく、手、腕、そして ② を使う活動を経験させ、以後の塑造体験の幅を広げさせることが求められる。そのためには ③ 的な導入から立体に表す指導を展開することが有効である。

- [語群] A 造形遊び      B 計画      C 身体全体  
 D 道具            E 可塑性      F 作業性

	①	②	③
ア	E	C	A
イ	F	D	A
ウ	F	C	B
エ	E	D	B

問10 電動糸のこぎりに関する記述として誤っているものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 糸のこぎり刃の刃形には、刃と刃の間隔(ピッチ)に違いがあり、軟材を切る場合はピッチの小さい刃を使い、硬材を切る場合はピッチの大きい刃を使用する。
- イ 糸のこぎり刃の交換は必ず電源を切り、コードのプラグをコンセントから抜いて行う。刃に上下はないので任意の方向でセットしてよい。
- ウ 板材などのひき方の基本は、材料を両手で前に押し出すようにする。刃に負担をかけないために、材料を無理に押し出したりしないように注意する。
- エ 材料を切る際には大きなパーツに切り分けてから、徐々に小さく切っていく。小さなパーツを切る時は板を持っている手と刃の距離が近くなることがあるので、パーツを細かくしすぎない。

# 家 庭

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項 (3) 実践的・体験的な活動の充実」で示された内容である。文章中の①～④に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

家庭科において、家庭生活を支える仕事を ① 喜びや、自分が作品を完成させることができたという ② を味わうことは、知識及び技能を習得する意義を実感する機会でもある。さらに、失敗や困難を乗り越え、やり遂げたという成成感、 ③ にもつながる。すなわち、家庭科における ④ を向上させる観点からも、実践的・体験的な活動を重視することとしている。

	①	②	③	④
ア	手伝う	達成感	自分への自信	技能
イ	実践する	達成感	自分への自信	学習意欲
ウ	手伝う	優越感	他者への信頼	技能
エ	実践する	優越感	他者への信頼	学習意欲

問 2 「自分の成長と家族・家庭生活」について、家庭科のガイダンスとして授業を行うことになった。授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 小学校入学時からの自分を振り返り、自分の周りでどのような衣食住の生活が営まれ、自分の成長にどのように関わってきたかを話し合う。
- イ 各家庭や児童のプライバシーを尊重し、十分に配慮しながら取り扱う。
- ウ 第 4 学年の最初に位置づけて、自分の成長は家族の理解や愛情に支えられていることに気付けるようにする。
- エ これから学習する内容に触れ、見通しをもたせる。



問 3 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 A 家族・家庭生活 (2) 家庭生活と仕事」で示された内容である。文章中の①～④に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

生活時間の有効な使い方とは、時間に区切りを付けたり、に使ったりするなど、時間を工夫して使うことであることを理解できるようにする。さらに、の生活時間を考えながら、の生活時間の使い方を工夫することによって、が円滑に営まれることに気付くことができるようにする。

- |   | ①   | ②  | ③  | ④    |
|---|-----|----|----|------|
| ア | 効率的 | 自分 | 家族 | 学校生活 |
| イ | 計画的 | 家族 | 自分 | 家庭生活 |
| ウ | 効率的 | 家族 | 自分 | 学校生活 |
| エ | 計画的 | 自分 | 家族 | 家庭生活 |

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 食生活」を踏まえて述べた内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 加熱用調理器具の取扱いについて、IH クッキングヒーターを使用する際には、使える鍋の形状や材質がガスコンロと異なる場合があることについて言及する。
- イ ゆでたり、いためたりする調理については、材料を変えたり調理法を組み合わせたりして、平易なものから段階的に題材を発展させるようにする。
- ウ 調理に必要な用具の衛生的な取扱いとして、まな板は常に乾燥した状態で使用するよう指導する。
- エ 小学校家庭科における調理実習では、味の付け方については、食塩、しょうゆなどの塩味による味付けを中心として扱う。

















問 5 「栄養を考えた食事」に関する授業の中で、栄養素に関する学習を指導することになった。次の①～⑤の文の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 食事摂取基準や食品群別摂取量の目安の理解とともに、各栄養素の特徴を学習する。
- ② カルシウムは骨や歯の成分となるが、体の調子を整える働きもある。
- ③ 食品の体内での主な働きは「主にエネルギーのもとになる」、「主に体をつくるもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」の三つに分類できる。
- ④ 食物を摂取し、体内で消化、栄養素を吸収して利用する仕組みのことを代謝という。
- ⑤ 水分は体内で大切な働きをする栄養素である。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	○	○	○
イ	×	○	○	×	×
ウ	○	○	×	○	○
エ	×	×	○	×	○

問 6 次の文は、商品に付けられた表示に関する記述である。①～④の文とマークの組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 日本農林規格に適合する食品や林産物に付けられる。
- ② 製品安全協会が、安全と認定した製品に付けられる。
- ③ 再生紙を使用している製品に付けられる。
- ④ 古紙の利用を拡大し、紙のリサイクルの促進を目的として付けられる。

	①	②	③	④
ア				
イ				
ウ				
エ				

問 7 「物や金銭の使い方と買物」に関する授業を行うことになった。授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 現金による店頭での買物を扱い、日常行っている買物が売買契約であることを理解できるようにする。
- イ 売買契約が成立するのは、買う人(消費者)の申し出と売る人の承諾がなされた時点であることを理解できるようにする。
- ウ 商品を受け取った後も、購入者側の理由で商品を返却できることを理解できるようにする。
- エ 平成 29 年に改訂された「小学校学習指導要領」では、「買物の仕組みや消費者の役割」が新設され、児童が消費者としての意識を高めることが期待されている。

問 8 「季節や状況に応じた日常着の快適な着方」に関する授業を行うことになった。衣服の保温性を高めるための工夫として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 重ね着をして複数の空気層を作る。
- イ 開口部(首, 袖口等)をできるだけ小さくする。
- ウ 含気性の高い素材を選ぶ。
- エ 重ね着の最外部に通気性の高い素材の衣服を着る。

問 9 次の①～④の図と手縫いの縫い方の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



	①	②	③	④
ア	巻き縫い	半巻き縫い	並縫い	まつり縫い
イ	巻き縫い	半巻き縫い	ぐし縫い	かがり縫い
ウ	本返し縫い	半返し縫い	並縫い	かがり縫い
エ	本返し縫い	半返し縫い	ぐし縫い	まつり縫い

問10 「季節の変化に合わせた住まい方」についての授業で、様々な暖房機器の特徴と安全な使い方を取り上げることとした。石油ファンヒーターなどの開放型燃焼機器の給排気方式の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	給気	排気
ア	室内の空気	室内に放出
イ	室内の空気	屋外に放出
ウ	屋外の空気	屋外に放出
エ	屋外の空気	室内に放出

# 体 育

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」に示されている第 5 学年及び第 6 学年の目標について、〔 A 〕～〔 C 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1 目 標

- (1) 〔 A 〕, その行い方及び心の健康やけがの防止, 病気の予防について理解するとともに, 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 〔 B 〕や身近な健康に関わる課題を見付け, その解決のための方法や活動を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み, 約束を守り助け合って運動をしたり, 仲間の考えや取組を認めたり, 場や用具の安全に留意したりし, 自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また, 健康・安全の大切さに気付き, 〔 C 〕。

[解答群]

- ア 〔A〕 各種の運動の楽しさや喜びを味わい 〔B〕 自己やグループの運動の課題  
〔C〕 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う
- イ 〔A〕 各種の運動の楽しさや喜びを味わい 〔B〕 自己やグループの運動の課題  
〔C〕 自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う
- ウ 〔A〕 各種の運動遊びの楽しさに触れ 〔B〕 自己が取り組む運動の課題  
〔C〕 自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う
- エ 〔A〕 各種の運動の楽しさや喜びに触れ 〔B〕 自己が取り組む運動の課題  
〔C〕 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う

問 2 高学年の陸上運動領域におけるリレーを指導する際に、目指す児童の姿として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分たちの課題を学習資料から選んで練習を行った。
- イ 計時やスターター、記録など、みんなで役割を分担しながらリレーをした。
- ウ 必ず自分のチームが勝てるように、自分たちでメンバーを選んでリレーをした。
- エ 走ってきた友達のスピードと同じくらいのスピードでバトンパスをすることができた。

問 3 「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている指導計画の作成について、次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

単元など内容や時間のまとまりを〔 A 〕，その中で育む資質・能力の育成に向けて，児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際，体育や保健の見方・考え方を働かせ，運動や健康についての自己の〔 B 〕を見付け，その解決のための活動を〔 C 〕工夫したりする活動の充実を図ること。また，運動の楽しさや喜びを味わったり，〔 D 〕の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

[解答群]

- ア 〔A〕 理解して      〔B〕 目標      〔C〕 開発したり      〔D〕 体力  
イ 〔A〕 計画して      〔B〕 課題      〔C〕 発見したり      〔D〕 仲間  
ウ 〔A〕 よく考えて      〔B〕 めあて      〔C〕 開発したり      〔D〕 友達  
エ 〔A〕 見通して      〔B〕 課題      〔C〕 選んだり      〔D〕 健康

問 4 体づくり運動の「多様な動きをつくる運動遊び」及び「多様な動きをつくる運動」についての解説として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 中学年では，手軽な運動を行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりする。  
イ 低学年・中学年では，楽しく運動しながら，体の基本的な動きを身に付けることが重要である。  
ウ 高学年では，体のバランスを取る動き，体を移動する動きなどを行い，それらを組み合わせる。  
エ 低学年・中学年では，自己の課題を踏まえ，直接的に体力の向上をねらいとする。

問 5 器械運動の授業を安全に行うための指導や安全管理の方法として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 鉄棒の下にマットを敷いて一定の安全を確保する。  
イ 跳び箱を運搬する際には1段目と2段目以下を分けて運搬するよう指導する。  
ウ 跳び箱や平均台を運搬する際には縦向きで運搬するよう指導する。  
エ 固定施設の安全点検(初期点検・日常点検・定期点検)を実施する。

問 6 『小学校学習指導要領解説』における高学年の器械運動の「鉄棒運動」に例示されている【技】と【系・技群】の正しい組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 【技】 ① 逆上がり                      ② 片足踏み越し下り                      ③ 後方支持回転  
          ④ 前方支持回転                      ⑤ 両膝掛け振動下り

- 【系・技群】 A 支持系・前方支持回転技群      B 前方足掛け回転系・前方支持回転技群  
               C 支持系・後方支持回転技群      D 後方足掛け回転系・後方支持回転技群  
               E 懸垂系・後方懸垂回転技群

	①	②	③	④	⑤
ア	E	B	A	C	D
イ	C	A	C	A	C
ウ	E	A	B	C	D
エ	C	C	E	B	A



問 7 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

あなたは3年生の学級担任になりました。ゲームの授業を『小学校学習指導要領解説』に則って考えることにしました。2年生の時には簡単な規則を工夫したり、〔 A 〕を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることが求められていましたが、3年生では、規則を工夫したり、〔 B 〕を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることが求められます。

規則の工夫としては、誰もが楽しくゲームに参加できるように、攻めと守りの局面で〔 C 〕を設け、攻めを行いやすいようにしました。また、〔 B 〕を選ぶ例として、〔 D 〕の陣地を取り合うゲームでは、少人数のゲームで、ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた活動になるようにしました。

[解答群]

- |   |                 |                     |
|---|-----------------|---------------------|
| ア | 〔A〕 攻め方         | 〔B〕 自己に適した場や規則      |
|   | 〔C〕 楽しくゲームできる場  | 〔D〕 ゴール型            |
| イ | 〔A〕 作戦          | 〔B〕 自己やチームの特徴に応じた作戦 |
|   | 〔C〕 動くことのできる範囲  | 〔D〕 ベースボール型         |
| ウ | 〔A〕 遊び方         | 〔B〕 自己に適した場や規則      |
|   | 〔C〕 楽しくゲームできる場  | 〔D〕 ベースボール型         |
| エ | 〔A〕 攻め方         | 〔B〕 ゲームの型に応じた簡単な作戦  |
|   | 〔C〕 プレイヤーの人数に違い | 〔D〕 ゴール型            |

問 8 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

鬼遊びでは、鬼になってなかなか捕まえられない児童には、短い時間で鬼を交代したり、〔 A 〕したり、〔 B 〕したりするなどの配慮をする。また、鬼から逃げるのが苦手な児童には、〔 C 〕たり、鬼の人数を一人から徐々に増やしたり、〔 D 〕を増やしたりするなどの配慮をする。

[解答群]

- |   |                   |               |
|---|-------------------|---------------|
| ア | 〔A〕 陣地を設定         | 〔B〕 逃げる場所を狭く  |
|   | 〔C〕 安全地帯を設け       | 〔D〕 逃げる場所     |
| イ | 〔A〕 逃げる場所を制限      | 〔B〕 逃げる場所を狭く  |
|   | 〔C〕 安全地帯を設け       | 〔D〕 鬼でない児童の人数 |
| ウ | 〔A〕 逃げる場所を制限      | 〔B〕 鬼の人数を増や   |
|   | 〔C〕 捕まえられにくいルールにし | 〔D〕 仲間の人数     |
| エ | 〔A〕 鬼の人数を増や       | 〔B〕 陣地を設定     |
|   | 〔C〕 捕まえられにくいルールにし | 〔D〕 仲間の人数     |

問 9 中学年の表現運動の授業で「リズムダンス」を扱う際の『小学校学習指導要領解説』に基づいた指導の在り方を述べた文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア できるだけ楽しく踊れるように、ふだんから仲がよい友達とペアやグループを組むように指導すること。
- イ 踊る場所についてのルールは定めず、心の赴くままに空間を使って踊るように指導すること。
- ウ 全身を使って踊れるように、BPM 100 前後のリズムを用いて指導すること。
- エ 友達との関わり方として、二、三人の友達と型にとらわれず自由に踊るように指導すること。

問10 体の発育・発達に関する文として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 体は年齢に伴って変化し，個人差はほとんどない。

イ 体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりする。

ウ 体をよりよく発育・発達させるには，適切な運動，食事，休養及び睡眠が必要である。

エ 運動することで，生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待される。

## 外国語(英語)

問 1 外国語活動について述べた事項として適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「聞くこと」「話すこと[やり取り]」の 2 領域について扱う。
- イ 検定教科書を使って，授業を行う。
- ウ 年間 35 時間，授業を行う。
- エ 指導要録には，3 段階の評定を記載する。

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 1 部 外国語活動 第 2 章 外国語活動の目標及び内容 第 2 節 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い (1) 指導計画の作成上の配慮事項」には，国語科で扱うローマ字(訓令式)と外国語活動で扱うローマ字(ヘボン式)について述べられている。その内容として最も適切なものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 国語科で学ぶ訓令式は，外国の人にとって理解が困難なため，国語科においても段階的にヘボン式に変えていく必要がある。
- イ 国語科では訓令式により，日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解させることが重視されている。
- ウ 訓令式とヘボン式ローマ字は体系が異なり，児童に混乱をもたらすため，外国語活動では訓令式で指導を進める必要がある。
- エ 国語科では訓令式で書くことを指導するが，外国語活動ではヘボン式で自分の名前が書けるように指導する必要がある。

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 (1) 聞くこと」に基づいた指導の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるように指導する。

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるように指導する。

ウ ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるように指導する。

エ ゆっくりはっきりと話されれば、社会的な話題について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるように指導する。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 1 目標 (2) 読むこと」に基づいて指導を行う際、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 活字体で書かれた文字を識別し、文字の名称を発音できるように指導する。

イ 学習の段階に応じて、語の中で文字が示す音の読み方を指導する。

ウ 言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読むように指導する。

エ 語句や表現の意味を理解するため、発音と綴り<sup>つづ</sup>を関連付けて指導する。

問 5 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている内容である。文章中の ① ~ ④ に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ① など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、具体的な課題等を設定し、児童が外国語によるコミュニケーションにおける ② を働かせながら、コミュニケーションの ③ などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現などの知識を、 ④ における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。

	①	②	③	④
ア	単元	見方・考え方	目的や場面、状況	五つの領域
イ	単元	意欲・想像力	目的や場面、状況	生活場面
ウ	年間指導計画	見方・考え方	機能や目的、相手	生活場面
エ	年間指導計画	意欲・想像力	機能や目的、相手	五つの領域

問 6 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動』  
 (令和2年3月国立教育政策研究所)に基づくと、「話すこと[やり取り]」の評価規準について、次の①～③は、3観点(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)のどれについての記述か。正しい組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、自分のできることや得意なことなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。
- ② 自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、自分のできることや得意なことなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
- ③ 自分のできることや得意なことなどを、尋ねたり答えたりするための簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。

	①	②	③
ア	「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
イ	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」	「知識・技能」
ウ	「主体的に学習に取り組む態度」	「思考・判断・表現」	「知識・技能」
エ	「知識・技能」	「主体的に学習に取り組む態度」	「思考・判断・表現」



問 7 次の対話文において、強勢が置かれる単語の組合せとして適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A : Where do you want to go?  
①            ②            ③

B : I want to go to Italy.  
④            ⑤            ⑥

Where do you want to go?  
⑦            ⑧            ⑨

A : I want to go to Italy, too.  
⑩            ⑪            ⑫            ⑬

ア ①②③⑥⑨⑪

イ ①②⑥⑦⑪⑫

ウ ①③④⑥⑨⑪

エ ①③⑥⑧⑩⑬

問 8 「3人グループを四つ作りなさい」という指示の英文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア Make three groups of four.

イ Make four groups of three.

ウ Make three groups with four.

エ Make groups of four in three.

問 9 次の英文において、誤りを含む表現例を、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア Do you know where is he from?

イ Where do you think my watch is?

ウ I don't know what to do.

エ Tell me what you ate for breakfast.

問10 次の英文は、聞くこと、読むことの流暢性<sup>ちよう</sup>について書かれたものである。文中の ① ~ ④ に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

Andrew Wright(1995).  
Storytelling with Children

許諾を得ておらず不掲載

	①	②	③	④
ア	conversations	ability	searching	time
イ	conversations	communication	searching	chance
ウ	motivations	ability	guiding	chance
エ	motivations	conversation	guiding	time